

平成 24 年 9 月 3 日

独立行政法人 日本原子力研究開発機構  
国立大学法人 金 沢 大 学  
国立大学法人 東 京 工 業 大 学  
国立大学法人 福 井 大 学  
国立大学法人 茨 城 大 学  
国立大学法人 岡 山 大 学  
国立大学法人 大 阪 大 学

## **原子力教育大学連携ネットワーク 集中講座の新規科目開設について - 「原子力の安全性と地域共生」福井大学にて開講 - (お知らせ)**

原子力教育大学連携ネットワークにおいて、参画 6 大学の学生を一堂に集めた新規科目「原子力の安全性と地域共生」を、平成 24 年 9 月 10 日から同年 9 月 13 日までの間、福井大学にて開講します。

原子力教育大学連携ネットワークは、6 大学と独立行政法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」)の 7 機関共同で運営しており、平成 19 年度にはインターネットで結ぶ遠隔講義を、平成 22 年度には岡山大学で集中講座「環境と人間活動」を開設し、これら講座の受講学生数は延べ約 300 名(平成 23 年度実績)に達しております。今般、新たな集中講座を福井大学にて開設する運びとなりました。

集中講座における大学間の垣根を取り払った連携教育カリキュラムの実施により、異なる大学、異なる学科のシナジー効果による学生のレベル向上や、単独の大学では限定される原子力研究者や技術者養成のための教育カリキュラム等について新たな展開が期待されます。

原子力機構は、原子力分野の人材育成のため、大学との連携を強化して取り組んでいくこととしており、その一環として原子力教育大学連携ネットワーク活動に大学とともに取り組んでいます。

### **【添付資料】**

- 新規科目「原子力の安全性と地域共生」の概要

### **【参考資料】**

- 「独立行政法人日本原子力研究開発機構と国立大学法人金沢大学、国立大学法人東京工業大学、国立大学法人福井大学、国立大学法人茨城大学、国立大学法人岡山大学及び国立大学法人大阪大学との原子力教育大学連携ネットワークに関する協定」の概要
- 原子力教育大学連携ネットワークの主な活動

新規科目「原子力の安全性と地域共生」の概要

1. 科目コンセプト

- ① 原子力発電所の安全を確保するために、どのようなプロセスを経て原子力プラントがつくられているのか、「ものづくり」の観点から原子力における設計方法と規制体系を包括的に学び、今後の原子力の安全性のあり方について考える。
- ② 蒸気発生器伝熱管損傷やナトリウム漏えい事故などを経験してきた福井県において、原発立地地域の社会がどのように原子力と関わり、どのように共生してきたのか、その歴史を学び、今後の地域共生のあり方について考える。
- ③ 原子力関連施設を見学し、福島原発事故後の対応と現状を学ぶ。

2. 講義テーマ

以上のコンセプトを踏まえ、以下のテーマ分野を講義するとともに、学生間で討議・発表させ、学生自身が考えていくことを啓発する。

- ① 原子力の安全性のための規制と設計の現状
- ② 次世代の原子力の安全性確保に向けて
- ③ 原子力発電所立地地域との共生と今後の課題

3. 講師派遣大学(計 12 名)

- 福井大学
- 大阪大学
- 金沢大学

4. 参加学生数

21 名参加予定。

(福井大学 11 名、金沢大学 4 名、大阪大学 2 名、茨城大学 2 名、岡山大学 2 名)

5. 実施時期:

平成 24 年 9 月 10 日(月)～13 日(木)

6. 実施場所:

福井大学文京キャンパス、原子力関連施設等

以 上

【参考資料】

「独立行政法人日本原子力研究開発機構と国立大学法人金沢大学、国立大学法人東京工業大学、国立大学法人福井大学、国立大学法人茨城大学、国立大学法人岡山大学及び国立大学法人大阪大学との原子力教育大学連携ネットワークに関する協定」の概要

原子力機構と金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学及び大阪大学(6大学)とは原子力教育大学連携ネットワークに関する協定を平成21年3月27日に締結しました。本協定によって成立する組織を「原子力教育大学連携ネットワーク」と称します。

1. 本協定の目的

6大学と原子力機構の緊密な連携・協力により、学術及び科学技術の発展に寄与するための教育研究並びに人材育成の一層の充実を図ることを目的としています。

2. 大学連携ネットワークの活動

- (1) 原子力人材育成に係る教育研究プログラムに関すること
- (2) 相互の連携・協力による連携教育カリキュラムの実施に関すること
- (3) 学生実習等の実施に伴う施設・設備の相互利用に関すること
- (4) 有識者の招へい、シンポジウム、講演会等の開催に関すること

3. 連携・推進協議会の設置

上述の大学連携ネットワークの活動を円滑に推進するため、原子力教育大学連携ネットワークに連携・協力推進協議会、分科会を置き、活動内容を協議し、展開しています。

以 上

## 原子力教育大学連携ネットワークの主な活動

金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学及び大阪大学の6大学と原子力機構は、原子力人材の育成を推進するために、原子力教育大学連携ネットワーク(以下「大学連携ネットワーク」という)として、「共通講座」、「集中講座」の運営、また、講義で得られた知識を確実に身に付けるために、原子力機構の施設を利用した学生実習プログラム等を実施しています。このうち、「集中講座」の新たな科目として、福井大学にて「原子力の安全性と地域共生」を開講し、連携教育カリキュラム実施を更に推進するものです。

大学連携ネットワークでは、参画大学と原子力機構の緊密な連携・協力により、将来の原子力技術を担う若手の人材育成の推進、原子力に関する研究者及び技術者の養成等のために、以下について取り組んでいます。

- ・原子力人材育成に係る教育研究プログラムの開発
- ・相互の連携・協力による連携教育カリキュラムの実施
- ・座学で得られた知識を確実に身に付けるための学生実習プログラムの実施など

その具体的な展開として、平成19年度から遠隔教育システムを活用した共通講座や岡山大学での集中講座を実施する(平成23年度実績で6大学の学生約300名受講)とともに、学生(約20名前後)が参加する夏季学生実習を茨城地区で実施しています。こうした取り組みは、参画大学の特徴や原子力機構の施設や人材を相互補完的に最大限活用し、原子力分野の専門知識や能力を有する人材の育成に大きく寄与するとともに、今後ネットワークの強化による原子力教育の充実化やネットワーク参画大学間の交流等が更に期待されます。

## 原子力教育大学連携ネットワーク活動イメージ

通称：大学連携ネットワーク

(JNEN; Japan Nuclear Education Network)  
共同運営

